

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	理学療法士学科		科目区分	専門分野	授業の方法	実習
科目名	理学療法治療学(循環器疾患)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	普通教室 機能訓練室
担当教員	森下 昇	実務経験とその関連資格	理学療法士として、急性期～生活期まで実務の経験あり 関連資格:心臓リハビリテーション指導士、呼吸療法認定士			
《授業科目における学習内容》						
近年は心疾患や呼吸器疾患など、内部障害を有する高齢の整形外科疾患患者や脳神経疾患患者を担当する機会も多くなってきている。従って、内部障害疾患を専門とする理学療法士だけでなく、その他を専門とする理学療法士としても循環、代謝に関する知識を身につけておく必要がある。理学療法治療学IV-Bでは、心疾患患者への理学療法を行う上で必要不可欠な心電図と心肺運動負荷試験に関する基礎知識を深めるための実習を中心に行う。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験 100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
内部障害理学療法学						
《授業外における学習方法》						
授業中に要点を理解するように努め、定期試験までに復習をすること。						
《履修に当たっての留意点》						
理解しがたい内容かもしれませんが、皆さんに興味を持ってもらえるように、授業を展開していきます。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	心大血管疾患患者に関わる理学療法士の役割について理解を深める	配布資料	事前学習(20分) シラバスを読む 事後学習(40分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	心臓リハビリテーションと理学療法士の役割			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまで習ってきた循環・代謝に関する生理学の知識を復習する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :心臓の解剖・生理 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	心臓の解剖、生理に関する基礎知識の整理、酸素運搬系の理解			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	フィジカルアセスメントを中心に、実際の評価方法を体験する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :循環器の評価 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	循環器理学療法における必要な評価と解釈			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	主要な心大血管疾患の病態を理解する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	循環器疾患の病態生理に関する知識の整理(1)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	主要な心大血管疾患の病態を理解する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :発表準備 事後学習(30分) 講義の振り返り	
		各コマにおける授業予定	循環器疾患の病態生理に関する知識の整理(2)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	胸部X線写真、心臓超音波検査、血液生化学検査など、理学療法を行う上で必要な検査を学ぶ	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :循環器の病態検査 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	循環器疾患の病態把握に必要な検査と解釈(1)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患患者への理学療法を行う上で必要な心電図検査を理解する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :循環器の病態検査 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	循環器疾患の病態把握に必要な検査と解釈(2)		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患患者への理学療法を行う上で必要な心電図検査を理解する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :心電図 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	心電図検査の実際		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患患者への理学療法を行う上で必要な心電図検査を理解する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :心電図 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	心電図検査の実際		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	循環器疾患患者への理学療法を行う上で必要な心電図検査を理解する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :心電図 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	心電図検査の実際		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	急性期での心疾患患者に対するリハビリテーションについて学ぶ	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :循環器の急性期リハビリ 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	循環器疾患の急性期リハビリテーションの実際		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	回復期での心疾患患者に対するリハビリテーションについて学ぶ	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :循環器の回復期リハビリ 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	循環器疾患の回復期リハビリテーションの実際		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	心疾患患者の評価として重要な心肺運動負荷試験について学ぶ	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :負荷試験 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	心肺運動負荷試験の実際		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	実際に得られたデータを用いて、結果を解釈する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :負荷試験 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	心肺運動負荷試験の実際		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	実際の症例のデータをみて、理学療法を実施するうえでのリスク管理、理学療法の内容、評価について検討する	配布資料	事前学習(30分) 指定テキストを読む :循環器の症例検討 事後学習(30分) 講義の振り返り
		各コマにおける授業予定	循環器疾患の症例データからみた理学療法の検討		